

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」取組事例：新潟県 妙高市

◆コンセプト：「全ての人が輝くまち みょうこう」

妙高市に住んでいるかただけでなく、ふるさと妙高を想うかたや訪れるかたとのつながりを大切にしながら、地域内外の支え合いにより、全ての人々が輝き、真の豊かさを実感しながら、生活できるまちを創造する。

<特徴>

地域の主体的な取り組みを推進しつつ、国内外からの移住者や都市部住民との関わりを活かして、生涯活躍のまちを推進する。



基礎データ

- ・人口：29,671人（令和6年3月31日時点）
- ・地域運営組織への支援、移住定住の推進を強化するため、R2年度に地域共生課を設置。
- ・ワーケーションやワークシェアリング、ビジネスマッチングの推進について、R2年度から地方創生推進交付金を活用し事業を実施。
- ・平成29年度に「妙高版生涯活躍のまち」基本計画を策定。

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- 地域主体で支え合う地域運営組織の設立・運営を支援
- 組織の拠点となる施設の整備・改修を地域と協議

【今後の展開】

- 高齢化が進む2地区をモデル地区とし、アドバイザーを加え、組織化を推進
- 妙高支所を改修し、地域コミュニティの拠点の利用促進

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- 高齢者や女性等の時短雇用希望者に対する雇用機会の仕組みを検討
- シルバー人材センターの会員拡大

【今後の展開】

- テレワークを活用し市内外企業からアウトソーシングされた業務を受注する仕組み（ワークシェアリング）を構築

「健康」

【主な取組内容・進捗状況】

- 70歳対象の健康調査を実施し、虚弱高齢者等に筋力向上サービスを提供（市内3地域に筋力トレーニングの場を設置）

【今後の展開】

- 高齢者の健康増進を図る場として、まちかど・スポーツ・サロン等の運営のほか、「地域の茶の間」を活用し、地域単位でフレイル予防や世代間交流を推進

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- 移住・定住のため、住宅等の取得に対する資金的支援を実施
- 空き家登録制度により、中古住宅の活用を推進

【今後の展開】

- 居住誘導区域にサービス付高齢者住宅等の誘致
- 居住誘導区域内の未利用土地を宅地造成するための資金的支援

コミュニティへの人の流れ

- 地域支援員を配置し、空き家等の紹介などの相談体制の強化と、移住への資金的な支援により、県外及び国外からの移住が増加（地域コミュニティへの参加、移住者のスキルを活用する仕組みづくりを強化）

その他特徴的な取組

- 首都圏からの関係人口を創出するため、ワーケーション事業を展開する受入体制を整備するとともに、テレワークセンターを整備し、首都圏企業の人材と市内企業とのビジネスマッチングにつなげていく。